

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1） 具体的使途や実施体制、効果検証の結果等について

事業名：議事録公開促進事業

■事業概要

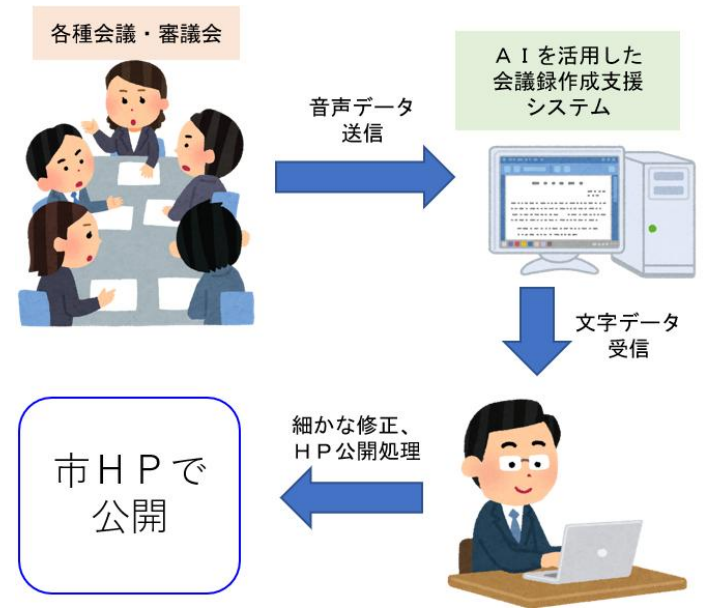
実施年度	令和6年度
事業概要	現在、各種会議の議事録は市職員による手作業で作成しているため、公開までに相当の期間が必要となっている。AI議事録作成支援システムを導入し、議事録作成を半自動化することにより、事務の効率化を図り、行政情報をより早く市民へ公開する。
具体サービス	【議事録公開促進事業】 ・AIを搭載した議事録作成支援システムの導入により、より早く市民へ情報を発信する。

■実施体制

名称	役割
かほく市	事業全般の管理・統括業務
株式会社社会議録研究所	システム構築・保守

■具体的使途（経費内訳）

項目	金額（千円）
AI議事録作成支援システム	
初期業務構築費用	-
初期機材費用	200
使用料	616
交付対象事業費計	816



デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプTYPE1） 具体的用途や実施体制、効果検証の結果等について

事業名：議事録公開促進事業

■効果検証の結果

KPI(指標)	目標値（上段）			直近のKPIに対する評価 及び次年度以降に向けた取組
	実績値（下段）			
	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	
①会議録公開までに要する期間（日）	20	15	10	<p>（評価）システムの導入にあたり説明会を実施したことや、会議録作成の精度向上のために会議でのマイク使用の徹底やICレコーダーの設置場所を工夫するなどの取り組みが功を奏し、会議録作成に係る時間が大幅に短縮され、ひいては会議録公開までに要する期間の短縮につながったものと考えている。</p> <p>（次年度以降取組）職員一人ひとりが手順やノウハウを身に着け、より一層システムの利用浸透を目指す。また、3年目（令和8年度）のKPI達成に向け、辞書登録機能の活用やAI要約機能の活用を推進し、会議録公開までに要する期間の短縮を図って行きたい。</p>
	16	14		
②議事録作成支援システムの活用回数（回）	35	40	45	<p>（評価）議事録作成支援システムの活用回数は、目標値を大幅に上回る結果となった。これは、公開していない会議録の作成に同システムを利用したためである。公開の必要がない会議の議事録作成にも同システムを利用したことで、そこにかかる時間を削減することができ、結果として、市民に対して公開する会議録の作成・公開に注力することができたものと考えている。</p> <p>（次年度以降取組）既に利用している部署においては活用回数は増加傾向にあるが、未だ利用していない部署もある現状である。今後は、未だ利用していない部署に対して掲示板等により、再度周知する等の利用促進に関する取り組みを計画していきたい。</p>
	297	444		
③情報提供について満足している市民の割合（%）	60	65	70	<p>（評価）これまで時間がかかっていた会議録作成に係る時間を短縮できたことが会議録公開までに要する期間の短縮につながったものと考えており、各種会議録を迅速に市民へ公開することで市民の市政に対する関心が高まり、KPI達成に寄与したものと考えている。</p> <p>（次年度以降取組）令和8年度のKPI達成に向け、辞書登録機能の活用やAI要約機能を活用し、会議録公開までに要する期間の短縮に努めるだけでなく、各種会議録を迅速かつ正確に公開を図ることで、更なる満足度の向上に努めていきたい。</p>
	76	75		